

Journal of Southern TOHOKU Community

北極星

第262号 (6月号)

発行／一般財団法人脳神経疾患研究所

URL : <http://www.minamitohoku.or.jp> E-mail : pr@mt.strins.or.jp

この新聞は南東北グループ職員向けの院内紙です



院是「すべては患者さんのために」

総合南東北病院 新たな使命

県、地域災害拠点病院に指定

DMA T 派遣体制など要件満たす

総合南東北病院は4月1日付で、福島県より災害対策基本法に基づく「地域災害拠点病院」に指定されました。3月7日付の福島県災害医療対策協議会(書面開催)で承認されました。

地域災害拠点病院は、県内や近県で災害が発生し、通常の医療体制では被災者に対する適切な医療を提供することが困難な場合に、都道府県知事の要請により、傷病者の受け入れや災害派遣医療チーム(DMAT)の派遣などを行うなどの機能を備えた病院です。福島県の災害拠点病院は、基幹災害拠点病院が1病

院(福島県立医科大学附属病院)、地域災害拠点病院が当院を含め8医療機関となりました。地域災害拠点病院の指定には①災害発生時に24時間緊急対応し、被災地の傷病者等の受け入れ及び搬出が可能な体制を有する②災害発生時に被

災地からの傷病者の受け入れ拠点にもなれる③DMATを保有し派遣体制が整っている④救命救急センターまたは第2次救急医療機関である⑤業務継続計画に基づき被災した状況を想定した研修及び訓練を実施できるなどの要件を満たすことが前提となります。当院は今後、県内外で大規模な災害が発生した場合、地域災害拠点病院として新たな役割を担うこととなります。

原子力災害医療協力機関に登録

総合南東北病院は4月1日付で福島県の「原子力災害医療協力機関」に登録されました。3月7日付の福島県原子力災害医療対策協議会(書面開催)で承認されました。

原子力災害医療協力機関は、原子力災害時に立地道府県等や原子力災害拠点病院が行う原子力災害対策に関する協力をを行います。福島県内の原子力災害拠点病院は3病院、原子力災害医療協力機関は当院を含め8機関となりました。

船見氏(本院)が会長就任

県理学療法士会 山口氏は相談役



福島県理学療法士会
の会長に就任した舟見敬成氏

(一社)福島県理学療法士会の総会は5月29日(日)、オンラインで開かれ、任期満了に伴う役員改選で、新会長に総合南東北病院(本院)リハビリテーション科主任の舟見敬成(よしなり)さんが選ばれました。任期は

2年です。山口和之会長(同)は相談役に就きました。会議では組織力の強化、会員の質の向上、職能活動の推進・強化を重点とする2022年度基本方針を決めました。事業計画には領域別のネットワークの構築や、身体的負担による介護従事者の離職をなくすための取り組みなどを盛り込みました。舟見新会長は「会員一人一人が『みんなの笑顔をつ

今月号のなかみ

▽2面 初期臨床研修医に修了証書授与、2人の医師に専門医認定書伝達、手術支援ロボット「ダヴィンチ」使った

手術300症例超す
▽3面 介護情報誌「おはよう21」が総合南東北福祉センターの取り組みを紹介、人事
▽4面 人事、編集後記

期待込め8人に修了証

令和2年度入職の初期臨床研修医

令和2年度に入職した第17期総合南東北病院初期臨床研修医の修了祝賀会は、3月14日(月)午前8時から本院北棟NABEホールで行われ、2年間の臨床研修を終えた医師8人に修了証書が授与されました。

修了生は次の目標に向けて決意を新たにしました。

(一財)脳神経疾患研究所の吉本高志最高顧問が開会の言葉を述べた後、渡邊一夫理事長が「当院での経験を生かして、信頼される立派な医師になってください」と修了生を励ました。修了証書授与の後、寺西寧院長が修了生の今後の活躍を期待し、お祝いの言葉を述べ、指導医の高野祥直副院長(外科)と金子知香子科長(脳神経内科)が研修状況を報告しました。令

和3年入職の初期臨床研修医を代表して郡司瑞樹医師がはなむけの言葉を送りました。

8人の修了生は2年間の研修を振り返り一人一人あいさつ、指導医や先輩医師への感謝の気持ち、今後の抱負などを語りました。深谷保男院長代行の言葉で閉会した後、渡邊理事長や寺西院長らを囲み全員で記念写真を撮りました。

従来行っていた会食はコロナ禍により前年同様行いませんでした。

修了生は次の通り。
遠藤秀時、小野昌大、川上勇矢、関総一郎、友利雅貴、中崎駿、府野琢実、森田光賜

新たに専門医資格を取得

比留間、橋本両氏に認定証

本院救急集中治療科部長の比留間孝広医師は「呼吸療法専門医」、同科長の橋本克彦医師は「集中治療専門医」の認定を取得しました。認定はいずれも4月1日付。両氏は4月4日に本院NABEホールで行われた朝礼の席上、寺西寧院長から認定証が伝達されました。

呼吸療法専門医は(一社)日本呼吸療法医学会が認定する専門医で、「呼吸不全状態

にある患者の重症度、緊急度を的確に評価し、気道管理、人工呼吸、酸素療法など、生



寺西院長から専門医の認定証を伝達された比留間医師(右) =写真①=と橋本医師(右) =写真②=

ダヴィンチで手術 300症例を突破

総合南東北病院が導入している低侵襲の内視鏡下手術支援ロボット「ダヴィンチ」を使用した手術症例数が300件を突破し、販売元のインテュイティブサージカル社から念盾を披露する高野副院長



ら本院に記念の盾が届きました。ダヴィンチは、患者さんのお腹に小さな穴を開け、繊細に動く手術器具を取り付けたロボットアームと内視鏡を挿入し、医師がサージョンコンソールと呼ばれる装置で3Dの内視鏡画像を見ながらロボットを操作して手術を行います。当院では2017年12月に導入し、外科の高野祥直副院長を中心にプロジェクトチームをつくり、翌年8月から本格運用を始めました。大腸がん手術などに運用され、2020年3月に100症例、今年2月に300症例に達しました。

です。

集中治療専門医は、「さまざまな臓器不全や多臓器不全を発生している重症患者の前身管理とケア、また、命をつなぎとめるための高度な知識と技術を持ち合わせている専門医師」で、(一社)日本集中治療医学会が認定されます。資格は5年ごとに更新されます。4月時点での専門医は全国で2326人。福島県内は20人で、本院では橋本医師のほか、比留間医師、麻酔科の管桂一医師(顧問)と埜口千里医師も集中治療専門医に認定されています。

渡邊理事長、寺西院長を囲んで記念撮影に収まる修了生ら



日和田の職場を紹介 介護職の情報誌「おはよう21」

介護専門職の総合情報誌「おはよう21」7月号（発行・中央法規出版）で、社会福祉法人南東北福祉事業団の総合南東北福祉センター（郡山市日和田町）の職場の取り組みが紹介されました。

諏訪中央病院名誉院長で作家としても活躍する鎌田實さんが、介護の現場で利用者さんを支えるスタッフと対談形式で取材する連載企画「おはようクローズアップ対談 鎌田實と語る介護の「魅力」」に取り上げられました。

川美香さん（チーフ）が対談に応じました。
鎌田さんは気さくに話しかけ、南東北福祉事業団の沿革や渡邊一夫理事長率いる南東北グループの事業理念や特色、事業所間の団結力を高める工夫、働

き甲斐や職場環境など、広範囲にわたって質問しました。グループ合同で開催する運動会や球技大会、よさこい競演なども話題に上りました。特にグループ全事業所が共通の目標としている「16ゼロ作戦」に興味を持ったようで、対談は盛り上がりしました。
「おはよう21」は一般の書店で販売されています。

人事

（3月～5月）

3月発表分

〔異動〕
◇看護師▽南東北医療クリニック（総合南東北病院看護部）宗像汐莉 3月1日付
◇介護支援専門員▽南東北居宅介護支援事業所（ゴールドメディア）八巻雅恵▽ゴールドメディア（南東北居宅介護支援事業所）林真紀子 3月1日付

◇事務職▽南東北福島病院事務部（総合南東北病院事務部）仲野みずき 3月1日付▽同（脳神経疾患研究所福島事務所）伊藤有子 3月7日付

〔採用〕
◇看護師▽総合南東北病院看護部 渡邊雪野 3月1日付▽南東北訪問看護ステーション ゴールドメディア 佐藤摩耶 3月7日付
◇看護アシスタント▽総合南東北病院看護部 樋口葉月 2月12日付▽同

4月発表分

〔発令〕
◇看護師▽南東北福島病院看護部長 渡部智恵子 4月1日付
◇事務職▽脳神経疾患研究所福島事務所長兼法人本部病院建替担当 玉川芳明 3月14日付▽南東北福祉事業団南東北ロイヤルライフ館施設長兼南東北グループ介護・福祉部門担当室長 石部英宣▽リハビリ南東北福島事務次長兼法人本部介護・福祉コンプライアンス担当室長 戸田慎一 4月1日付

〔異動〕
◇医師▽南東北医療クリニック（総合南東北病院放射線治療科）山口久志
◇看護師▽総合南東北病院看護部（南東北医療クリニック）古川春香▽同（南東北がん陽子線治療センター）加藤雅良▽同（南東北訪問看護たんぽぽ）石井里美▽南東北医療クリニック（総合南東北病院看護部）刈谷しのぶ▽同（南東北創薬・サイクロトロン研究センター）石田朋子▽同（同）新田悦子▽南東北がん陽子線治療センター（総合南東北病院看護部）安藤香也子▽同（同）渡邊成留美
◇保健師▽南東北訪問看護たんぽぽ（南東北訪問看護ゴールドメディア）後藤敦子
◇診療放射線技師▽南東北医療クリニック（総合南東北病院診療放射線科）島田星良
◇理学療法士▽総合南東北病院通所リハビリ（総合南東北病院リハビリテーション科）木村健太▽南東北医療クリニック（同）佐藤聡見▽リハビリ南東北福島（南東北福島病院）坂内勇亮▽訪問看護ステーション南東北福島（リハビリ南東北福島）佐藤亮太▽リハビリ南東北川俣（南東北福島病院）須田悠花
◇作業療法士▽リハビリ南東北福島（南東北福島病院）葛野有沙
◇介護福祉士▽南東北春日リハビリテーション病院（総合南東北病院看護部）佐藤富美子※転籍
◇介護支援専門員▽南東北富田・喜久田居宅介護支援事業所（南東北居宅介護支援事業所）舟橋静慈▽同（南東北日和田居宅介護支援事業所）影山陽子

▽南東北須賀川居宅介護支援事業所（泉崎南東北リハビリテーション・ケアセンター）古屋美香 以上4月1日付

〔出向〕
◇保健師▽南東北第二病院（総合南東北病院看護部）石井麻衣子
◇作業療法士▽総合南東北福祉センター八山田（総合南東北病院リハビリテーション科）大越麻耶
◇介護福祉士▽南東北八山田居宅介護支援事業所（ゴールドメディア）鈴木衡▽ライフステップ八山田（リハビリ南東北川俣）小林大地 以上4月1日付

〔出向解除〕
◇看護師▽総合南東北病院看護部（南東北第二病院）松本絵里
◇社会福祉士▽三春南東北リハビリテーション・ケアセンター（南東北春日リハビリテーション病院）古川有沙 以上4月1日付

〔採用〕（4月1日付）
◆総合南東北病院
◇医師▽スポーツ医学講座 スポーツ医学センター長 沼崎広法▽高血圧糖尿病内科科長 齊藤美恵子▽外傷センター医長 金子洋之▽消化器内科医長 武田悠希▽放射線治療科医長 阿左見祐介▽地域婦人科腫瘍学講座 婦人科医長 遠藤雄大▽予防医学センター医員 柿沼雄二▽循環器科医員 天海一明▽低侵襲腫瘍制御学講座 外科医員 益子隆太郎▽消化器内科医員 石川雅文▽眼科医員 磯野寛▽外傷センター医員 大崎祐寿▽脳神経外科医員 亀野力哉（4面につづく）



総合南東北福祉センターが紹介された紙面

▽外科医員 西原聖仁▽放射線診断科医員 武藤憲哉▽整形外科医員 福田裕也▽耳鼻咽喉科医員 松葉義大▽放射線診断科医員 劉文翰▽同 渡部博之▽外科医員 西野一輝▽脳神経内科医員 油座碧玉▽呼吸器外科医員 藤嶋康祐▽心臓血管外科医員 堀田明敬▽救急集中治療科医員 友利雅貴▽外科医員 府野球美

◇歯科医師▽歯科口腔外科医長 石橋牧子

◇研修医 中里彰彦、遠藤伊菜、大塚久仁、小野寺智黒、澤航汰、齋藤恭平、寒河江敬之、迫慶一、佐藤梢、佐野和大、住田莞、瀬川万理、張大威、土山晃弘、山澤大輔

◇歯科研修医 小山進祐

◇保健師▽看護部 長峯彩江、伊藤有沙、山本芽衣、濱津姫歌、浅和美穂

◇看護師▽看護部 黒須みなみ、平山美奈、遠藤日向、佐久間菜奈、矢吹優衣、谷苗安奈、荒井知奈美、舟山明佳、池田菜央、鈴木一誓、櫻井里咲、原伊織、安田周平、三澤紗奈、吉田滯奈、石津幸菜、金澤春奈、菅野真生、後藤佳恋、遠藤美翔、林部莉奈、東城実夢、吉田朱里、齋藤美佑、佐藤佑季、橋本和奏、松本羽也人、高松麻莉亜

◇看護アシスタント▽看護部 大竹千絵

◇薬剤師▽薬剤科 原田悟、佐藤佑香、玉上真梨乃、遠藤英里香

◇理学療法士▽リハビリテーション科 佐藤秀夏、五十嵐友弥、佐久間歩未、横田海斗、高松恰美、高田美咲、白石智也(第二病院出向)、鈴木愛里沙(同)◇作業療法士▽リハビリテーション科

佐藤麻紗、藤宮将大、東海林あみ(第二病院出向)

◇言語聴覚士▽神経心理学研究部門 石塚俊汰、熊田彩加(第二病院出向)

◇臨床工学技士▽臨床工学科 佐藤飛鳥

◇診療放射線技師▽診療放射線科 鳴海和樹、山本唯人、遠藤玲、齋藤菜石田理乃、志賀優大

◇臨床検査技師▽臨床検査科 佐久間翔太、松尾紗也香、大塚源希▽病理診断科 鈴木萌芭

◇事務職▽事務部 國分佑斗、鈴木菜流、金子稜菜、菊地信吾

◆南東北福島病院

◇歯科医師▽口腔外科部長 高橋哲

◇医師▽整形外科医長 小林一貴

◇保健師▽看護部 森奈津美

5月発表分

◇事務職▽総合南東北病院事務部顧問 大越武彦▽法人本部経営企画部長 水野日出樹▽総合南東北病院事務部事務次長・総務課長 渡邊勉▽同事務部事務次長・南東北第二病院事務部事務次長・代替プロジェクト事務次長 吉田亮

▽同事務部事務次長・代替プロジェクト事務次長補佐 藤沼靖和▽法人本部施設課長補佐、経営企画部室長 齋藤晶仁▽総合南東北病院事務部総務課人事研修担当課長 甲賀明美 5月1日付

【異動】

◇看護アシスタント▽総合南東北病院看護部(南東北医療クリニック) 木戸美代子 4月11日付

◇看護師▽看護部 神尾明希

◇理学療法士▽リハビリテーション科 小林史弥、菅野輩人、三浦彩愛、武田真依、三浦直也

◇作業療法士▽リハビリテーション科 遠藤涼央奈

◇言語聴覚士▽神経心理 石井里菜

◇社会福祉士▽医療相談課 佐藤亜希子、吉田里生

◇事務職▽事務部 舟山萌

◆南東北医療クリニック

◇技能訓練士 雫子波愛依

◆南東北がん陽子線治療センター

◇看護師 高野葉月

◇診療放射線技師 長尾歩乃佳、邊見夢紀、佐藤真里奈、鳴海克希

◆ゴールドメディア

◇介護福祉士 鈴木佑理

◆リハビリ南東北川俣

◇理学療法士 澁谷成美

◇介護福祉士 茂木玲

◇介護スタッフ 清野恵音、清野利琉、菅野彩菜、菊地玲哉

◆リハビリ南東北福島

◇看護師 遠藤美佳

◇社会福祉士 渡辺葉月

◇介護スタッフ 太田正宏

◆在宅看護センター結の学校・南東北福島訪問看護ステーション結

◇看護師 吉田強志

付

◇事務職▽総合南東北病院事務部(南東北医療クリニック) 佐原歩 5月1日付

【出向】

◇看護師▽南東北川俣デイサービスセンター(リハビリ南東北川俣) 佐久間明子

◇介護福祉専門員▽南東北居宅介護支援事業所(総合南東北福祉センター) 佐藤絢子 以上4月18日付

【出向解除】

◇看護師▽リハビリ南東北川俣(南東北福祉センター川俣) 菅野ともし 4月18日付

◇管理栄養士▽リハビリ南東北川俣(南東北福祉センター川俣) 折笠めぐみ 4月4日付

◇事務職▽総合南東北病院事務部(南東北第二病院) 大和田桃子 5月1日付

【採用】

◇医師▽総合南東北病院 南東北第二病院 南東北地域医療推進センター 副センター長 大谷聡▽総合南東北病院救急集中治療科 松崎史弥 5月1日付

◇看護師▽裏磐梯診療所 佐藤真尋 5月9日付

◇看護アシスタント▽南東北医療クリニック 佐川あや、今泉美喜 5月1日付

◇介護福祉士▽ゴールドメディア 薄井俊 4月6日付

◇介護支援専門員▽居宅介護支援事業所ゴールドメディア 良田博史 5月1日付

編集後記

新型コロナウイルスが流行し始めた頃は、不要不急の外出自粛のライン引きが難しかった。今はマスクをはずすライン引きが難しい。夏にはまた感染が拡大するという見方もある。オミクロン株は後遺症が心配という情報も流れている。おいそれとマスクなしにはなれないのも無理のないことかもしれない。3年も続いた「新しい生活様式」である。元に戻すのは容易ではなさそうだ。



とんこつ黒マー油ラーメン 薬膳グリーンカレー コーヒー

レストラン「へるす」

ランチタイム 11:00~15:30

☎024-983-7725 (内線2509)

皆様のご来店をお待ちしております。

発行 一般財団法人
脳神経疾患研究所
法人本部広報担当

郡山市八山田七丁目115
電話 024-93415708

印刷 石井電算印刷株式会社

北極星

2022年6月号